

なみえの未来をともにつくります



議会だより

2005.11.1

No. 110

16年度決算認定



9月定例会

まちづくりにどう生かされた
平成16年度決算審査…P 2～9
第4次浪江町長期総合計画を可決…P10～11
一般質問 12人登壇……………P12～24

まちづくりにとどう生かされた

平成17年第4回浪江町議会定例会が9月13日から9月28日までの16日間の会期で開催され、一般質問には12人が登壇するなど活発な質疑が交わされました。

今議会に提案された議案は、決算の認定、専決処分承認（17年度一般会計補正予算）及び第4次浪江町長期総合計画基本構想及び基本計画の策定など18の議案、議員発議による意見書3件が提案され、いずれも原案どおり認定・可決しました。

また、議員発議による議長不信任決議（案）が提出されましたが、賛成少数で否決されました。請願・陳情では、請願書3件（採択）、陳情書2件（採択）が審議され、意見書3件を関係機関に提出しました。

さらに、総務常任委員会、産業建設常任委員会、文教厚生常任委員会の視察研修報告が委員長よりありました。



決算

決算の認定

一般会計と特別会計を合わせた決算額は歳入総額 145 億 7371 万円（前年比 1.6% 増）、歳出総額 140 億 8657 万円（前年比 1.1% 増）で形式収支は 4 億 8714 万円の黒字決算となりました。一般会計では 2 億 115 万円、特別会計では 11 会計の合計は、2 億 8599 万円となり各会計とも黒字決算となりました。（賛成多数で認定）

平成 16 年度一般会計・特別会計決算額

（単位：円）

区 分	歳 入	歳 出	
一 般 会 計	8,229,278,006	8,028,128,426	
特 別 会 計	奨学資金貸付事業	13,767,966	12,362,200
	文化及びスポーツ振興育成事業	4,042,008	3,515,600
	国民健康保険事業	2,094,489,372	1,992,756,330
	国民健康保険直営診療施設事業	130,269,810	108,243,684
	老人保健	2,171,907,501	2,144,152,591
	公共下水道事業	838,338,341	750,194,038
	工業団地造成事業	6,017,729	0
	農業集落排水事業	54,657,943	49,430,021
	宅地造成事業	17,037,235	16,334,800
	介護保険事業	1,006,146,660	981,014,776
	財産区管理事業	7,763,314	440,174
小 計	6,344,437,879	6,058,444,214	
合 計	14,573,715,885	14,086,572,640	

一般会計

歳入決算額 82 億 2927 万円で、前年度決算額に比較して 2 億 2988 万円（2・9%）増となりました。歳出決算額は 80 億 2812 万円であり、前年度に比べ 2 億 5273 万円（3・3%）の増加となりました。

主な事業は、特別養護老人ホーム増築補助事業に 2 億 1091 万円、浪江小学校大規模改修事業費に 1 億 8008 万円、耕畜連携・資源環境総合対策補助事業 9945 万円、中山間事業活性化施設整備事業 7460 万円、放課後児童健全育成事業 2734 万円、eimachitaxi ぐるりんこ運営事業 1320 万円などであります。

まちづくりを見つめています

一般会計

決算質疑

一般会計の借金と債務 負担行為の状況は

公共用地は自前で

質問 消防屯所並びに防火水槽の敷地は、公共のために利用するという観点から買い上げが必要ではないか。

答 弁 地権者と協議し、買い上げるようにします。

質問 学校借地借上料は将来にわたり払うお金で、債務負担行為よりも大変です。契約見直しも含め買い上げる考えは。

答 弁 公共用地として買い上げるのが望ましく、今後基金を積み立て買い上げたいと考えます。

シルバー人材センター 独立採算への道

質問 センターへ595万円、補助されているがその内容と民業圧迫となっていないか。また、連合会負担金2万7千円はセンターが支払

うべきではないか。

答 弁 民業圧迫の苦情については、所管の労働基準監督局へは来ていません。補助金は、ほぼ事務局長へかかる人件費です。今年で最終年となりますので、3町で話し合い、できる限り独立採算の道を研究してまいります。連合会負担金はセンターで負担すべきと考えます。

放課後児童保育に かかる町経費と 保護者負担は

質問 2734万7000円の事業費で1人当たりの経費と保護者の負担はいくらか。また、高学年生に対する必要性は。

健康福祉課長 1人当たり25万7000円で保護者負担は1月2000円です。高学年では、スポーツクラブ、塾等で若干減りますが、アンケートの要望に添えて、今後も続けてまいります。

(単位：万円)

21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
582,688	502,454	452,836	429,011	388,090	369,100
89,810	77,716	67,409	57,890	48,954	40,794
672,498	580,170	520,245	486,901	437,044	409,894
279,770	256,353	225,281	174,502	179,776	38,690
952,268	836,523	745,526	661,403	616,820	448,584

質問 地方債元金残高は70億8700万円ですが、元金に対する利子と債務負担行為を合わせた年度別償還計画は。

総務課長 利子は10億6080万円です。償還計画は左表のとおりです。



みんなの瞳が



企業誘致の 本気レベルは

質問 企業誘致促進費の旅費予算8万7000円で、使ったお金が5200円、余したお金が8万1800円ですが、活動の実態と今後の取り組みは。

企画調整課長 低開発地域協議会の担当者会議への出張2回分です。いろいろなアプローチをしました。が、動ける状況にはいたりませんでした。今後優遇措置、助成制度等を整理し企業誘致の戦略構想を立ち上げます。

委託料は各課共通する 項目の一本化で経 費削減を

質問 委託料総額で3億7222万円の全体の見直しと、各課にまたがっている共通する部分について窓口を一本化する考えは。

総務課長 行政改革大綱策定の中で委託料見直しを検討いたします。共通する分野については、予算担当者会議の中で調整いたします。パソコン、各システムについては、企画調整課が行っております。



地方債年度別償還及び債務負担行為の状況

区分	平成17年度	18年度	19年度	20年度	
公債費	元金	688,106	631,494	679,276	691,296
	利子	157,204	138,286	121,686	105,030
	小計	845,310	769,780	800,962	796,326
債務負担行為	352,065	337,155	320,138	300,457	
合計	1,197,375	1,106,935	1,121,100	1,096,783	



財源の余裕を示す 経常収支比率が……

質問 経常収支比率（安全ゾーン75%以下）が前年より3.6ポイント上昇し80%になりました。代表監査委員の考えは。

代表監査委員 75%を超える

と弾力性が失われるといわれています。原因として大柿ダムの償還が大きなウエイトを占め、他町村との財政構造が違うと思います。財政力指数などは基準内ですが、厳しい財政運営をしていると感じております。

経費削減の努力の あと

質問 コスモス保育園費が15年度決算より2400万円、サンシャインなみえ管理費が500万円ほど削減されていますが、自助努力の内容は。

統括保育所長・産業振興課長

人件費の削減で大きくは保育士1人、用務員1人辞めた分です。管理費については、社協への委託から臨時職員2人による町直営にしたためです。

特別会計

決算

下水道事業特別会計

歳入総額8億3833万円、歳出総額7億5019万円で、差引き8814万円の残額となっておりま。

下水道建設工事では牛渡、樋渡、川添地区及び権現堂地区の一部でおこなわれ、事業費は3億5243万円、下水道維持管理費は7022万円となっています。

下水道会計事業の 見直しは

質問 認可計画の見直しで全体計画の見直しの結果は。

上下水道課長 下水道区域、

農業集落排水区域、合併浄化槽との役割分担を明確にし、また処理区域の面積の検討で620

haを532haとしました。事業費については、全体事業費251億6000万円を169億6000万円、今後の見直しは66億7000万円の予定であります。事業年度は平成27年完成を平成37年としました。

質問 一般会計からの繰り入れはどのくらいの規模になるのか。

上下水道課長 今後の事業を継続するためには、処理場、中継ポンプの工事の年度は多少高くなるが、その他はこれまでどおりの繰り入れになる。

質問 公債費は事業継続するとどのくらいに膨らむのか。

上下水道課長 起債償還は、今後、中継ポンプ場、処理場の増設を含めて、元金85億9612万円、利子30億8700万円、合計116億8400万円となり、事業は平成37年頃まで続く予定です。

使用料の値上げは

質問 受益者戸数・接続戸数と接続率は。

上下水道課長 接続可能戸数は約2500戸で、接続戸数は約2070戸であり、接続率は82.8%となります。

質問 下水道を維持していくため、使用料の値上げの考えはあるのか。

上下水道課長 使用料見直しについては、今後の経営状態を見ながら判断することになります。今後検討していきます。

水道事業会計

水道事業収益の決算額は3億7154万円で、総費用の決算額は3億3186万円となっています。それぞれの決算額を前年度と比較すると収入では353万円（1.0%）の増、支出では1391万円（4.4%）の増となっています。

（賛成多数で認定）

有収率向上と石綿管の更新は

質問 有収率84.5%で、前年比1.9%上回った背景と、引き上げを図るための改善努力は。

上下水道課長 漏水箇所の探查、調査の実施改修に努めたところですが、改善については、漏水の原因になる石綿管を改修し有収率向上に努力します。

質問 漏水対策は老朽化した石綿管の更新と思うが、現時点の布設延長と概算の事業費の試算はされているのか。

上下水道課長 年次計画で早い時期に解決ができるよう努力します。概算事業費は4億4000万円程度の事業費が必要です。

奨学資金貸付事業特別会計

歳入で1376万円、歳出で1236万円。執行率は93.2%となっております。奨学資金の貸付は1231万円で、前年度決算より97万円の増。貸付未

収金は70万円で前年度より4万円の減少となりました。

国民健康保険事業特別会計

歳入総額は20億9448万円、前年度より2.1%の増。歳出では19億9275万円で前年度対比112.1万円、0.6%の減となりました。過年度分とあわせて国保会計の未収額は2億9361万円で、前年度より2791万円増となりました。

老人保健特別会計

75歳以上の老人及び65歳以上で障害認定を受けている老人の医療給付事業です。

歳入総額21億7190万円（対前年比4.3%減）、歳出総額21億4415万円（対前年比5.5%減）で、差引き2775万円の黒字決算となりました。16年度決算の特徴は老人保険受給者4万2132人、前年度比1802人減でありました。一人当りの医療費諸費は65万7

342円（前年比4万6057円の増）となり、医療費の高額傾向が見られることです。

介護保険事業特別会計

歳入総額10億614万円（対前年比9.9%増）、歳出総額9億8101万円（対前年比9.8%増）となりました。平成12年度から始まった介護保険は、平成16年度の在宅サ

ビス受給者数399名（前年比8名増）、施設サービス受給者127名（前年比5名増）となり、制度の定着化が進んでいます。



その他の議案

- ① 専決処分 一般会計
衆議院解散に伴う選挙費用として1127万円を追加しました。（全会一致で承認）
- ② 福島県市町村総合事務組合を組織する市町村数の減少について
合併に伴い市町村数の減少について「専決8・9・10号」（全会一致で承認）
- ③ 福島県市町村総合事務組合を組織する市町村数の減少及び同組合規約の変更について「専決11号」
（全会一致で承認）
- ④ 福島県市町村総合事務組合の規約の変更について
（全会一致で可決）

補正予算

一般会計

普通地方交付税、地方特例交付金及び平成16年度決算による繰越金が確定により、2億7420万円を追加し、総額を73億6639万円としました。

歳出の主なものは財政調整基金への積立金1億4000万円、公共施設維持基金積立金2000万円、道路維持費2500万円、道路新設改良3432万円及びアスベスト対策費などです。(全会一致で可決)

質問 住宅建築物耐震改修補助金は何のために、どのように使われるのか。

建設課長 地震の際、住宅建築物被害の軽減を図るための事業です。専門家が建築物の耐震診断を1戸、12万円程度で行います。

質問 道路受託事業で1431万2000円の補正追加は、何の道路なのか。また町道

小熊田宮田線の事業完成まであといくら事業収入を見込んでいるのか。

建設課長 町道中舛倉西谷地線の延長道路が未整備のため、補正で整備するものです。

企画調整課長 小熊田宮田線の受託収入額は事業完了まで概算で4億6400万円程度と見込んでいます。

質問 町史編さん費163万9000円の補正計上の理由は。

教育総務課長 町史編さんにより充実するため、専門委員の会議回数、現地調査を多くした結果、当初の見込みより費用が増えました。

質問 大豆緊急拡大促進事業費59万6000円の補正計上は。

産業振興課長 今年度に改めて設けられた、土地利用型作物受給率向上緊急対策の県単独事業です。10アール当たり5000円の助成で、1ヘクタール以上の集積が必要です。

水道事業会計

収益的支出で営業費用250万円、営業外費用310万円の増額です。資本的支出で建設改良費98万円の増額補正です。(全会一致で可決)

質問 社会的問題となつているアスベストの関係で、水道管の石綿管対策は。

上下水道課長 世界保健機関(WHO)でも石綿管の害はないと報告されているが、利用者に対して不安を与える材料なので今後において順次石綿管の布設替えをしていきます。

国民健康保険事業特別会計

平成16年度事業の確定により1528万円を追加し、総額を20億2319万円としました。(全会一致で可決)

国民健康保険直営診療施設事業特別会計

平成17年度国保直診特別会計

は、702万円追加し、総額を1億1809万円としました。歳入は繰越金で、歳出の主なものは進入路新設改良工事であります。(全会一致で可決)

老人保健特別会計

平成17年度老人保健特別会計は、平成16年度事業の清算に伴う補正で、9428万円を追加し、総額を21億8471万円としました。(全会一致で可決)

公共下水道事業特別会計

平成17年度公共下水道会計は、4310万円を追加し、総額7億4810万円としました。(全会一致で可決)

介護保険事業特別会計

平成17年度介護保険事業会計は、平成16年度事業確定による補正で、1807万円を追加し、総額を10億8307万円としました。(賛成多数で可決)

条例改正

町税徴収率向上を 町税収納嘱託員設置

新たに町税等収納嘱託員を設置することに伴い、町税等収納嘱託員の報酬について規定するものです。(賛成多数で可決)

質問 税金滞納の回収については管理職の夜間訪問等これまでの努力は十分理解するものでありますが1カ月12万円、回収額に応じて歩合給を出す嘱託員を配置するのは納税者とのトラブルがないのか、強制徴収にならないのか。また特別職の公務員としての立場と規定はどのようなになるのか。

税務課長 現有体制では徴収率の低下傾向に歯止めがかからず特別職の嘱託員を導入したいわけですが、十分に研修を行いトラブルがないよう努めております。公務員の立場は地方公務員法にのっとり、今後さまざまな規定を定めてまいります。

質問 税金徴収の特別職を置く場合の費用対効果をどのように考えているのか。また以前に設置されていた特別職の反省はどのようなになっているのか。

税務課長 あくまで徴収率の向上、事務の効果を上げるために設置するわけですが1人当たり月200万円程度を収納目標に取組んでまいります。また、

以前にあつた臨時職員の時もそれ相応の効果はあつたと推察しますが、今回は、トラブルに配慮し、身分(非常勤の特別職)を付与した中で業務にあたつていただきます。

議員 発言

「議長不信任の決議については」
賛成少数で否決されました。

同意された人事案件

◆特別功労者の決定について

第34回町表彰式において表彰する特別功労者として、次の10名の方々が顕彰されることについて全会一致で同意しました。

○(故)北原 俊二
教育の振興に尽力された功績により

○佐々木 幸夫
浪江町議会議長、議員として地方自治の進展に寄与された功績により

○(故)朝田 寛一
浪江町議会議員・浪江町農業委員として地方自治の進展に寄与された功績により

○前田 文雄
浪江町議会議員として地方自治の進展に寄与された功績により

○山形 琴江
薬剤師として住民の健康増進、健康維持に尽力された功績により

○藤田 保正
浪江町議会議副議長、議員として地方自治の進展に寄与された功績により

○安倍 義浩
浪江町消防団長として消防組織体制の実現に尽力された功績により

○木村 重信
浪江町議会議員として地方自治の進展に寄与された功績により

○窪田 庄一
各種統計調査に尽力された功績により

○鈴木 正一
浪江町議会議副議長、議員として地方自治の進展に寄与された功績により



総合計画を可決

■ あんしん夢プランな・み・え

現長期総合計画が目標年度（平成16年度）を超過したこと及び著しい社会情勢の変化に対応するため、新たな長期総合計画について、議会との十分な協議を重ね、一部議会の意向を踏まえた第4次総合計画は賛成多数で可決されました。



質問

平成11年策定の長期総合計画を、どう検証した上で今回の計画の提案となったのか。

答弁

100以上の計画について個票をつくり事業の検証を行いました。今回の計画は、事業の評価を行いながら、その評価に基づいて目標を立てるべきなのかということと個別計画の中で明らかにするという考え方です。

質問

基本目標を推進すれば将来の産業構造、市民の生活基盤、結果として人口がどうなるのか正直見えてこない。なぜ、将来目

標を数値化しないのか。

答弁

かつての計画では人口を何万人にするということを目指したために政策課題を作りましたが、人口問題については達成しえませんでした。

質問

なぜ2万5000人なのか。

答弁

コーホート要因法^(注)を用いて現実的な数字を出したということです。2万人についてはあくまで町の出生率が1・8人という伸びが続くという前提です。現実には2万人に到達することは難しいが、少子化対策等の施策



なかよく

ともに築こう
安心のまち

みんな えがおで

第4次 浪江町長期

を講じて2万人にしましょうということですが、そしてUターンされる方々もいますし企業誘致等を積極的に行い2万5000人としたということです。

質問

浪江・小高地点原発の早期建設の施策提起はこれでよいのか。

答弁

原発政策については浪江町のこれまでの歴史や現状認識をしながら、あと一歩という用地問題に決着をつけるべく最善を尽くしてまいります。立地が可能なように取り計らってまいります。

質問

基本構想及び基本計画に基づく実施計画を作成し、推進するにあたって、議会に対してなぜ財政計画を示せないのか。

答弁

基本的に地方自治法の中で、

【長期総合計画】

将来の町の行政を計画的・効果的に運営するため、町をとりまく様々な社会変化を踏まえ、将来の町のあるべき姿、まちづくりの基本的方針、更に今後実施すべき施策を定めるもので、今後の町の行政指針となるものです。

- 基本構想** まちづくりを総合的・計画的に進めるため、本町のあるべき姿を描き、目標達成のための基本施策（施策の大綱）を定めるものです。
- 基本計画** 基本構想で定められた施策の大綱に基づき、計画期間内に実施すべき施策と、これを推進するための手法などの具体的内容を定めるものです。

議会の議決事項として基本構想があります。しかしながら、基本計画をも議案として提出しました。このことは全国的に見ても一歩進んだ処置であります。これらを実現化するための実施計画は3カ年で毎年度ローリングしながら運用して行きます。毎年度の予算はそれぞれ案として提出し承認をいただくものです。ただ決めるにより議決しなければいけないという類のものではありません。

※コーホート要因法

コーホート法であり、コーホート人口の変動要因を「出生」「死亡」「移動」に分離して考察する方法
 ●コーホート
 コーホート（11同年または同時期に出生した集団）ごとの時間変化を軸に変化をとらえる方法。

12 議員が質問

■橋爪光雄議員

- (1) 公共施設構内整備について
- (2) アスベスト対策について

■泉田重章議員

- (1) 福島県立浪江高等学校津島分校存続に係る、町の取り組みについて

■吉田数博議員

- (1) 行財政改革について
- (2) 地域防災対策について
- (3) 観光施設等の整備について

■紺野榮重議員

- (1) 財政運営について
- (2) 行政改革について

■佐々木 茂議員

- (1) 公害としてのアスベスト及び水道資材の石綿管及び鉛管について
- (2) 公共事業及び水道事業の進行状況について
- (3) 権現堂下川原にある旧公民館の利用について

■鈴木辰行議員

- (1) 浪江青果市場の町支援について
- (2) ホテル百足屋閉店で町の対応について
- (3) 隣人・他人に迷惑を掛けない運動の実施について
- (4) 町税・国保税の収入未済額について

■小黒敬三議員

- (1) 運営しやすい行政区を作るためにどのような方策を考えているのか
- (2) 合併について6月答弁のその後は

■渡邊文星議員

- (1) なぎさリフレッシュ事業と請戸新港空き地整備について
- (2) 危機管理について
- (3) 財政について

■佐藤文子議員

- (1) 子育て支援について
- (2) 災害時に於ける危機管理対策

■田尻良作議員

- (1) 落合浪江線のガケ崩れ対策について
- (2) 総合健診について
- (3) 農業政策について

■佐々木英夫議員

- (1) 住宅用防災機器設置と維持について
- (2) 町活性化の目指すところ
- (3) 介護保険制度の検証と介護保険法改正の課題と自治体の対応について

■馬場 績議員

- (1) 行財政問題について
- (2) 買収罪の構成について
- (3) 教育行政について
- (4) 見直し後の介護保険について
- (5) アスベスト被害について
- (6) 地域の活動期と災害対策について
- (7) 農政問題と集落支援について
- (8) 平和・憲法について

町政と問

このページには、質問した議員の質問事項が掲載されています。議会だよりに掲載する一般質問の内容は、紙面の構成上、1議員3件までの質問、答弁をそれぞれ800字以内に要約しておりますので、ご了承ください。

アスベスト(石綿)対策を凶れ

万全な体制で 対応を

質問

アスベスト(石綿)による健康被害について、国民の間に不安が広がっています。1995年には毒性が強い青石綿、茶石綿の使用が禁止され、昨年10月からは白石綿も原則禁止となるなど規制が強化されてきた。当町も実態調査と対応策に取り組む必要がある。相談窓口、診断体制についてどのように対応するのか。

健康福祉課長

現在は、県の保健福祉部健康衛生領域健康増進グループで、一括して相談を受付しています。町民の健康相談、診断については、健康福祉課健康係で受付をして県に報告する体制をとっています。現在、アスベストに関わる健康相談は受けていません。

質問

県内のアスベストを取り扱う事業所は7事業所あります。当町では、浪江日立化成工業と浪江日本ブレーキが公表されている。当町はどのような対応計画をされているのか。

町長

行政報告でお答えを申し上げますとおり、全体で200カ所以上に及ぶ調査をしました。レベルが高いものについては4カ所ほど確認しました。企業については、納得できる追跡調査をしております。レベルが高いものについて対応すべく予算措置を今議会でお願ひして、対応してまいります。

質問

一般住宅の屋根瓦にアスベストが混入されている。解体時の飛散防止と防護対策は、

建設課長

県と相談して対応します。専門の業者さんに解体処理のアドバイスをしていきます。

思いやりの対応を

質問

ふれあいセンターなみえ南側

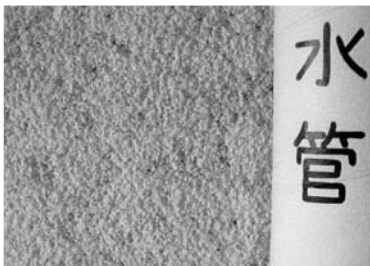
構内未舗装と、しらうめ介護支援センター構内の舗装計画はあるのか。

生涯学習課長

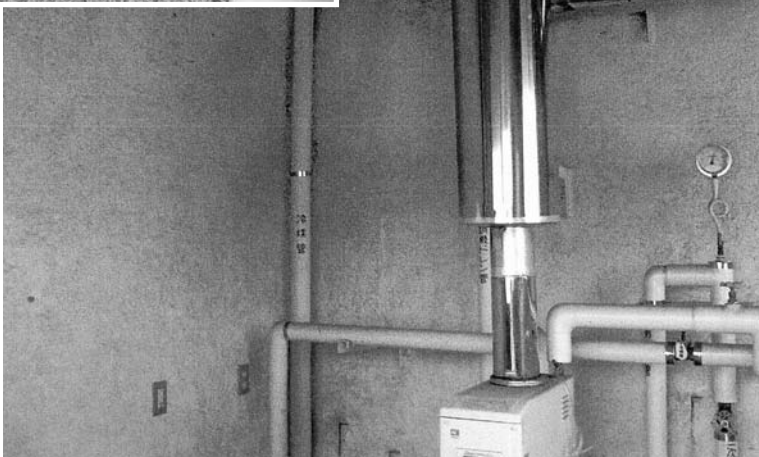
ふれあいセンターなみえ南側構内未舗装部分については、前向きに整備したいと思っています。

健康福祉課長

しらうめ介護施設入居者が高齢者という点から、照り返しによる温度の上昇の影響等も考慮し前向きに検討します。



水管



除去される壁面のアスベスト (北棚塩総合集会所)



|| 泉田 重章 議員 ||

町政と問う

一般質問

県立浪江高等学校津島分校存続にかかる町の取り組みについて

募集定員の半分以下が3年以上続くと廃校の危機になる。平成17年度は募集定員40名に対し、18名である。学校存続について設置町としての取り組みは。

質問①

県は審議会等で検討するが、求める地域の意見として町はどう対応するのか。

教育長

広く意見を求めるため、早い時期に検討委員会を設置し、県に要望して行きます。

質問②

通学する交通手段の確保が大切である。町営バスの運行状況と今後の見通しについて問う。隣接町村と連携した運行がでないのか。

住民生活課長

継続的に運行して行きます。

質問③

少子化による生徒減少について今後の見通しは。

教育長

現在の状況下で減少傾向に歯止めをかける材料はない。

質問④

卒業後、社会に出た就職者・未就職者への質問で、高校時代にもっとやっておけば良かったことに普通教科、職業に関する教科の勉強がある。高校生への対応を考えると、義務教育段階での基礎学力向上をどうすべきか問われている。人間性構築のため道徳教育を支援する構想は何か。

教育長

学力向上が最重要課題と考え、県指定のパートナーシップ事業等により間接的に高等学校の学力向上に協力する。町では職業観や勤労観を含めた道徳教育にも力を入れる。

質問⑤

地域連携のため、中山間施設、津島診療所を活用した特科の要望と、地域整備の財政支出に

じる考えはあるのか。

町長・教育長

今後開催する後期中等教育検討会議で十分検討すべきと考え

る。財政支出は、ある程度の金額であれば検討する。

質問⑥

今後、町民一体の取り組みが必要であると考えますが中高一貫教育の考え方と、取り組む考えはあるのか。

教育長

いろいろな方法があります。検討会議で十分論議していきます。



津島分校校舎の存続を

行政改革にどう取り組むか

質問

三位一体の改革のもと、地方交付税の減額等をふまえ厳しさを増す財政運営のなか効率、効果的な行政運営と安定した財政運営が緊急の課題です。行政改革の骨格を示し、行政と民間

の役割分担を深く議論し職員の意識改革を図る必要がある。今後の対策をどう進めるのか伺いたい。

町長

現在、行政改革において、平成18年から5カ年の新しい行政

改革大綱を策定すべく検討中であります。経常収支比率の悪化は地方交付税、臨時財政対策債などの経常一般財源が大きく減少したためです。今後町税の確保や三位一体による税源移譲の拡大要望、さらには一層の経常経費の削減など努力してまいります。

80市町村財政「危険水域」

県内の昨年度経常収支比率 公債費増や税収減 住民サービス低下懸念

県内の市町村のうち松崎、大森の2市町村を除く80市町村で経常収支比率が危険域とされる。市町村別では、松崎市が最も悪化しているが、80市町村のうち半数以上が危険域に属している。市町村別の危険域入りは、松崎市が最も悪化しているが、80市町村のうち半数以上が危険域に属している。市町村別の危険域入りは、松崎市が最も悪化しているが、80市町村のうち半数以上が危険域に属している。



地域防災を図るために

質問

今後予想される自然災害、とりわけ地震対策、津波避難計画、津波ハザードマップの作成や消防法改正に伴い個人用一般住宅にも火災警報器設置が義務化されます。これらの対策はどのように図るのか。

住民生活課長

地震対策として、町民

新しい観光開発を図れ

質問

新しく観光協会を立ち上げ観光立町を目指すためにも、現在の観光施設の整備を行い、また、新たに観光開発を行うべきだと思いますが所見を伺いたい。

産業振興課長

今年度県補助事業の地域の宝調査事業を導入し、浪江町の既存施設の活用、新たな観光資源の開発について検討中であり、18年度には、高瀬川整備事業を実施し整備を進めてまいります。



|| 紺野 榮重 議員 ||

町政と問

一般質問

町村財政危険水域

財政運営について

質問

財政の硬直化を避けるための方策は。

総務課長

町税の確保、経常経費の削減が大切です。また行政改革を進めてまいります。

質問

当分合併のない中で、財政運営をどう進めるのか。

総務課長

地方財政は大変厳しい。町税、一般財源を可能な限り確保し、事務事業の見直しや削減努力してまいります。

質問

今後の財政運営はどこに重点

48市町村「赤字」

26年度財政 県が試算 交付税40%減で

合併対象など除く

市町村と県の連携に関する十一市町村のうち三町村とする審議会は二十一日、を除く四十八市町村で歳入の形を審議し、出が歳入を上回る結果となり、県が初めて作った平成二十六年度の県内各市町村財政シミュレーションが示された。歳出額を平成十六年度の決算額と同等とし、地方交付税額と臨時財政対策債額を可能額の合計が40%減少する、という厳しい条件を仮定した場合、対象とした五

併を誘導するための資料として10%削減で四八パーセント、結果を単純に比較して10%削減した。10%削減は「あくまでも各町のシミュレーション作成を求めた」として、削減を四十七市町村、30%削減するための資料」（広域行政課）と位置付けている。審議を始める菅野典雄県町村会長（飯館村）は「シミュレーションはあくまで参考にとり、他の事例を参考にしていない」とも考慮していないと指摘した。

削減を単純に比較して10%削減した。10%削減は「あくまでも各町のシミュレーション作成を求めた」として、削減を四十七市町村、30%削減するための資料」（広域行政課）と位置付けている。審議を始める菅野典雄県町村会長（飯館村）は「シミュレーションはあくまで参考にとり、他の事例を参考にしていない」とも考慮していないと指摘した。

行政改革について

質問

保育所、幼稚園等、部分的に民間に移譲できないのか。

町長

全国的には民営化という流れが進んでいるが、サービス低下をさせないように見極めて進めて行くことと、方向性等は行政改革推進委員会などで検討しています。

質問

行政改革最終年度となりますが実績は。

総務課長

行政改革大綱に盛り込まれた内容については、ほぼ計画通りに達成されたと認識しております。

質問

委託料、補助金、負担金が大変な額になるが見直しされているのか。

総務課長

委託料は予算編成の時、査定している。しかし、OA化の部分では増えております。補助金については補助金規制委員会で見直しされております。

質問

有効な施設を作るうえで、広域圏で話し合われるべきではないか。

企画調整課長

部分的に共同利用しておりますが、不十分なので、今後さらに充実した体制にしたいと思っております。

石綿管の布設替え アスベスト対策について

質問

町内に布設されている石綿管の延長及び布設替えの計画はあるのか。また、宅地内への鉛管の使用と交換をどうするのか。更にアスベスト対策について町の考え方、取り組み方についての考え方を答えたい。

上下水道課長

石綿管の延長は4万2000メートルあり水道管に占める割合は24%。アスベストは呼吸器からの吸入に比べ経口摂取による毒性は極めて小さい。利用者による不安を与えるものとして計画的に布設替えを行います。

公共事業・水道事業の推進状況は

質問

公共事業及び水道事業の進捗状況の説明を求めます。今日ま

で、町民から改良改築の要望が

ありながら、住民への説明会でやりますといった箇所がなかなか進まないのは、何が原因で先延ばしになっているのか、それぞれ生活道路として長年改良が

- 道改良
- ⑤ 佐屋前・順礼川原の側溝のフタ
 - ⑥ 加倉馬場内から室原堀知木間の水道管布設
 - ⑦ 丈六公園高瀬小山迫の水道管

布設

あり、計画年度を住民に示して欲しい。

水道管についても同じく要望されてきた地区でもあり住民の要望に答えることが行政の責任ではないか。箇所別に答えてほしい。

- ① 酒田東一丁目鉄道下部改築について
- ② 立野原地区光明寺北側から東350m区間の改良
- ③ 満開橋から請戸長塚線の交差点の改良
- ④ 立野原地区内の町



水道管布設要望地区

町長

公共事業について町民の理解が必要、必要が認められたら財政的出動を考えながら進めたい。

建設課長

原則補助事業で進めたい。生活通学といった生活道路を優先させる。

予算及び町財政の硬直化を招かないように努力しながら、短中期に分けて考えます。

上下水道課長

加倉馬場内から室原堀知木間は平成20年に全て完成させる。丈六公園から高瀬小山迫については平成21年から布設します。

旧公民館の利用は

質問

権現堂下川原の旧公民館を町内の集会場及び老人クラブの活動に使えないのか。

町長

老朽化のため安全性が確保できません。

総務課長

集会等は、消防屯所2階や役場、サンシャイン浪江等もあります。



|| 鈴木 辰行 議員 ||

町政と問う

一般質問

ホテル百足屋閉店による 町の対応を問う

買収して町活性化 につなげないか

質問

中心市街地に
屋内の公共施設
はありません。

町内には文化セ
ンターもありま
せん。市街地を
活性化させるに
は、中心に人々
を集めることが
できる公共施設
が必要です。

町で買収して
公共施設として
活用する計画は
ないのか、また
TMOと連携し
た活用案がで
きないのか。

町長

現時点では、



閉鎖したホテル百足屋

町がホテル百足屋を買収して、
何かしらの経営をする考えはあ
りません。TMOとの活用案
については、TMOから相談が

あれば話し合いに応ずる用意は
あります。

迷惑をかけない 運動の取り組みは

質問

空き缶やごみの投げ捨て、隣
地や公道にかぶさっている支障
木や草、犬の鳴き声や糞の始
末・騒音など、迷惑を受けてい
る町民は多くおります。近所の
ために苦情を言えない方々も多
くおります。これらを無くすこ
と、住みよい町づくりの一步
だと思います。「隣人・他人に迷惑
をかけない運動」をどう取り組
むのか。

住民生活課長

会議等の機会に説明して、協
力をお願いしたいと考えており
ます。

町長

指摘はもつともであると受け

止めております。運動を広げる
ためのチラシを、私の名前で配
布したいと考えております。

税金の滞納額解消 を図れ

質問

年々累増している、町税・国
保税の滞納額を解消するため
どのような方策で取り組まれる
のか。また生活困窮による滞納
者をどう解決するのか。

税務課長

夜間・休日の納税相談を開設
しております。そして収納嘱託
員2名を採用し、夜間・日曜祝
祭日にも対応できる体制としま
す。また税を取り巻く環境危機
意識を共有する観点から、昨年
に引き続き、全管理職員による
夜間徴収を実施することにし
ました。国保税滞納者の72%が
150万円以下の低所得世帯
で、滞納が増えております。滞
納処分の停止については一定の
基準で処理されるもので、この
基準の見直しを含めた対策につ
いては、今後検討させていただきます。

運営しやすい行政区をつくるために

質問 中心市街地の空洞化と郊外への住宅集中で、行政区間の世帯数格差が年々広がっています。そこから生じる諸問題について、平成16年6月にも質問しましたが、その後どうなったか。

質問 区長業務をサポートする役員職員の配置については。

総務課長 配置の検討はしていません。行革大綱の策定に向けて検討したいと考えています。

質問 バランスを欠いた一部の地区において、消防団や育成会などと一体となった活動ができる組織をつくることについては。

総務課長 まだ協議に入っていませんが、各団体と地域が密着してやって行くことは必要だと思います。今後行政区長会とお話したいと思います。

質問 予算・決算を総会にかけるとかけない区の問題は。

総務課長 昨年は、行政区長会が開ける状況でなかったため相談してありません。自主的な運営が基本ですが、町が指導して行く必要もあると思います。

質問 浪江地区では世帯数格差が9倍以上です。合併分割も含めた検討は、また第三者機関による検討委員会をつくる考えは。

総務課長 前項の理由でできませんでした。今後の区長会で相談いたします。

町長 行革委員長は区長会長です。ある程度の見直しの意向は伝えてあります。また、全体に及ぶ問題に限って第三者機関が必要と考えます。

質問 行政区への未加入世帯が約2割に達し、地域コミュニティの崩壊による諸問題が危惧されます。その方策は。

町長 自由意志を尊重するという微妙な立場もございます。未加入の割合が2割、3割と増えれば

危機的な状況になりますので、今後実態調査をし新たな方策を打ち立てます。

質問 各行政区に対する地域づくり支援事業補助金は、町が事業ごとに評価し、予算配分するはずが、一律になりました。その経緯は。

町長 査定を区長会に任せました。私の指示の間違いであります。平成18年度より行政が査定し、ふさわしいものだけに支援してまいります。

格差が広がる行政区の世帯数

行政区	世帯数	
浪江地区	第1区	145
	第2区	52
	第3区	41
	第4区	224
	第5区	202
	第6区	68
	第7区	80
	第8区	120
川添北	235	
川添南	158	
上ノ原	355	
町営住宅自治会長	134	
樋渡・牛渡	223	
高瀬	151	
佐屋前	136	



渡邊 文星 議員

町政と問う

一般質問

なぎささリフレッシュ事業と 請戸新港・空き地整備を図れ

【快適で、うるおいのある海岸環境を創造する『なぎさリフレッシュ事業』】が、平成5年度

に、当時の建設省の認定を受けた事は、国も町も事業目的の完了に対して責任が発生します。



背後地の早期実現を

質問

請戸海岸の現況、【快適で、うるおいのある海岸環境】と理解しているか。

町長

それほどの結果に至っていないと感じています。

質問

国に提出した、町の事業計画内容は、(背後地)

建設課長

多目的広場・駐車場・キャンプ場海水浴場等の整備計画と理解しています。

質問

その整備計画は、

建設課長

背後地の整備に資する様な整備を考えていきます。

町長

海水浴場等は、積極的に整備を図ります。

質問

請戸新港・漁港区域の背後地の広大な空き地整備計画のマスタープランは。

建設課長

漁業振興や地域活性化につながる、漁業再開発施設・環境整備用地ゾーンの整備計画の素案はあります。

質問

素案具現化の為、地域住民との意見交換等、住民参加の地域作りの基本に立ち返り、間違いない対応を。

建設課長

整備のあり方等関係課と調整を図り、早期に住民との意見交換会を開催し整備に向けた意見集約を図ります。

津波 ハザードマップは

質問

ハザードマップは、何故、策定されないのか。また、人命・財産の問題である。早急に策定すべき。

住民生活課長

財政的・技術的から策定していかない。今後関係機関を含め検討します。

質問

海拔0mの請戸地区の避難場所を、地域唯一の高台、大平山としては。

町長

幾世橋小学校への避難が最適と考えます。

質問

津波発生時、請戸川・前田川に挟まれた請戸地区の避難場所は大平山です。

また、避難路として、北館の内一の場合線が工事の為、4mに拡幅する予定。工事終了後、避難道に確保しては。

産業振興課長

土地改良事業の中で検討します。

加速する少子化に歯止めを

質問

少子高齢化時代が加速していく中で、高齢化は止めることはできないが、少子化は行政の政策で歯止めをかけることができると思います。

そこで平成16年度に廃止した

子育て奨励金の児童健全育成奨励金制度の条例を復活する考えはないか。

町長

総合的な子育て支援というこ
とで、放課後児童クラブの全学
年受入れを実施したために廃止

をした経緯あります。子育て奨励金は現時点でも復活は考えて
いません。

質問

浪江町が本腰を入れて子育て支援をしているということが、
少しでも若い夫婦がこの町に移
り住もうかなという考えに繋が
らないとも限りません。矢祭町
のような子育て支援の、出生祝
い金制度の導入は。

町長

これからは浪江町でも第3子
以上の出産祝い金等を考えても
よいと思いますが、金銭的なも
のが良いのか、又はその他のシ
ステム上、どんな形のものが経
済的支援になるのか検討して行
きたいと思えます。

質問

子供一時預かり支援事業の進
捗状況は。

健康福祉課長

平成21年までの本計画での前
期計画の中で現在1カ所設置す
る計画です。

質問

登下校時児童見守り隊発足の
内容は。

教育総務課長

老人クラブ、PTA、または
有志による婦人の方などの協力
を受けて、現在各小学校単位と
してすべての学区内で発足をし
ています。タスキを300本作
成して各見守り隊に配布したと
ころです。

安心して暮らせる 町作りを

質問

大規模地震時におけるハザード
マップの作成は。

住民生活課長

太平洋沿岸の近隣の町村との
相談や、県の指導を受けながら
作成をしたいと考えています。

質問

災害時要支援者の把握は。

住民生活課長

災害時要支援者名簿を役場
職員、地域の区長さん、消防職
員、消防団、警察、民生員、福
祉施設のヘルパーさん、その他
関係機関の協力を得て把握し、
災害時には早めに対処するつも
りです。



ひとりひとり かけがえのない宝です



田尻 良作 議員

田尻と問

一般質問

県道落合浪江線の崖崩れ事故対策について

質問

沿線住民の小丸畑川三程地区住民にとって重要な生活道路です、早急な修復工事を。

町長

沿線住民の皆さん方には多大なご迷惑をおかけしております。県の富岡土木事務所にはこれまで何度か早急な措置を求め要請をしてきましたが、工事終了は平成18年7月末という回答でした。今後通達のあった時期よりなるべく早く完了するように引き続き要請はしてまいります。

質問

仮橋の設置、工事期間中の朝夕一時通行許可、迂回路対策と地元住民への説明会の考えは。

建設課長

川岸に仮橋の要請と工事中一時通行の件は、県に申し入れをします。安全が最優先されるので難しいと思われませんが、迂回路の町道室原小丸北沢線ですが狭小区間の土砂の撤去、舗装の補修、

待避所の設置等の整備を考えています。また冬季間の降雪、凍結

については速やかな除雪、砂等の準備を考えています。説明会は必要に応じて対応していきます。

質問

高齢者が多い地域なので救急

体制と医療バスの確保とスクー
ルバスが通行できないので保護
者への負担軽減策、ごみ収集の
対策は。

健康福祉課長

患者輸送車は、畑川からの
コースと室原から行くコースで



寸断された生活道路

週1回運行しています。

教育総務課長

保護者への助成については検討したいと考えています。

住民生活課長

ごみの収集は行政区長と早急に協議し対応します。

総合健診について

質問

がんの早期発見、早期治療を推進するため町では、がん検診を無料化にすべきではないか。

健康福祉課長

受診者が一部負担することで健康を守っていくという自覚につながるものと考えますので、現在個人負担金の無料化は考えておりません。

質問

今年の検診者数は3000人増え待ち時間が長かった。検診日の日程に問題があるのではないか。

健康福祉課長

初日の受診者は少なく最終日は多い傾向になり、今後検診期間の日数を増やすか検診会場を見直す等の検討をします。

住宅用防災機器設置と維持について

質問

双葉広域火災予防条例の中で平成18年6月1日から新築家屋に住宅用防災機器を設置するよう義務付けられているが機器の販売維持について

①一般家庭へのPRをどうするのか。

②老人住まいの家庭への指導はどうするのか？

③詐欺まがいの販売にどう対処

するののか。

住民生活課長

悪質な業者から購入した場合クーリングオフの対象となりませんので、その制度で対処してもらいます。取付け等は消防団に協力をお願いしたいと思っています。消防署の方でも相談を受け付ける状態になっておりますので、相談すれば消防署員が訪問して指導することになって



義務付けられる火災報知器

町活性化の目指すところは

質問

町活性化のため、原子力発電所の見直しはあるのか、また健康科学プラザのできる見直しと現在の進捗状況は。

町長

100%何月何日とは申し上げられないが、ある程度の見直しがあるので現在も建設に向けて用地買収が続いています。健康科学プラザについては、条件として用地が解決した後になっておりますが、平成17年当初予算において健康科学プラザの用地買収費を計上など、実現に向けて前に進んでいます。

介護保険制度の検証と法改正の課題と対応は

質問

介護保険制度の法改正の予防給付と地域支援事業制度についてと介護保険による家族負担は軽減されたが、家族制度の崩壊が進んでいる孤独老人をどう支援するののか。

健康福祉課長

保険料や公費負担の上昇が過剰とならないよう、給付の効率化、重点化が進められます。地域密着型サービスの創設、居住系サービスの体系的な見直しとサービスの質の確保と向上のため、ケアマネージメントの見直し、地域支援センターの整備、認定調査の見直し、事業者情報の公表が行われます。新たなサービスメニューでは運動機能向上、栄養改善、口腔機能の向上が検討され、高齢者が地域で生活を維持するため利用ができるよう、市町村から委託された業者がサービスを提供します。



浪高津島分校存続のために 介護福祉士などの養成を

鳥獣被害対策（電気柵）事業の補助継続を

分校存続のために 提案

質問

少子化や、生徒保護者の意識が変わり、今年の新入生は18名。分校存続の取り組みについて提案します。

【その1】町の中等教育検討会議を今年度中に立ち上げる。

【その2】関係町村教育委員会、学校、PTAとの連携強化。

【その3】地元津島での学校、関係団体との協議。

教育長

今年中の立ち上げを積極的に検討し、関係町村の教育長に協力申し入れをします。

質問

同時に次の打開策を提案する。

1つ 県教委に関係町村と一緒に募集定員引き下げを申し入れする。

2つ オンフル双葉との連携

教育長

で介護福祉士の養成など独自カリキュラムを検討する。

提案の件については検討会の中で論議します。

アスベスト対策・ 見直し介護保険は

質問

町の公共施設、浪江日立化成工業、浪江日本ブレイキの石綿使用の実態は。

総務課長

小野田取水場ポンプ室で吹きつけ石綿が確認されたので除去します。他では天井材、床パネル等の使用で、今後の破損を注視します。

住民生活課長

両工場と白石綿。現在は製造加工はしておりません。従業員、周辺住民とも健康被害はないということですが。

軽度介護サービスで 自立改善が7割8割

質問

厚生労働省の調査でも自立改善の結果が出ている。介護保険法の見直しで

①軽度認定者の利用制限

②介護施設の利用料負担

が増加する。その対策は。

健康福祉課長

①法改正で現在の要支援、要介護1の利用者の7割8割程度が新予防給付に変わると推測されます。

②介護3施設の食費や居住費が、今年10月1日から全額自己負担となります。



効果が期待される電気柵

産業振興課長

イノシシ対策として電牧の設置は非常に効果がある。補助事業の継続を。

質問

17年度も申請件数が多く9月議会に補正増額しました。次年度も実施が必要と考えております。

皆さんから出された

請願

陳情

採択された請願

○義務教育費国庫負担制度の堅持と充実を求める請願書

〔請願者〕

福島県教職員組合中央執行委員長 住谷圭造 外1

○30人以下学級を柱とする教職員定数改善の早期実現を求める請願書

〔請願者〕

福島県教職員組合中央執行委員長 住谷圭造 外1

○複式学級の学級編制基準の引き下げを求める請願書

〔請願者〕

福島県教職員組合中央執行委員長 住谷圭造 外1

採択された陳情

○町道宮田新堤線舗装化について

〔陳情者〕

立野連絡協議会会長立野下区長 山田康夫 外13
堆肥センターからの良質堆肥を安全に搬出するため、町道宮田・新堤線の舗装化を要望するものです。

○道路沿線の支障木除伐の件について

〔陳情者〕

浪江町津島地区行政区長 会長 矢吹次男
津島地区内国道、町道路線の交通安全対策と環境維持のため、支障木除伐を要望するものです。

○30人以下学級を柱とする教職員定数改善の早期実現を求める意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣 財務大臣
文部科学大臣 総務大臣

○複式学級の学級編制基準の引き下げを求める意見書

〔提出先〕

内閣総理大臣 財務大臣
文部科学大臣 総務大臣

議員発議の意見書

○義務教育費国庫負担制度の堅持・充実を求める意見書

〔提出先〕

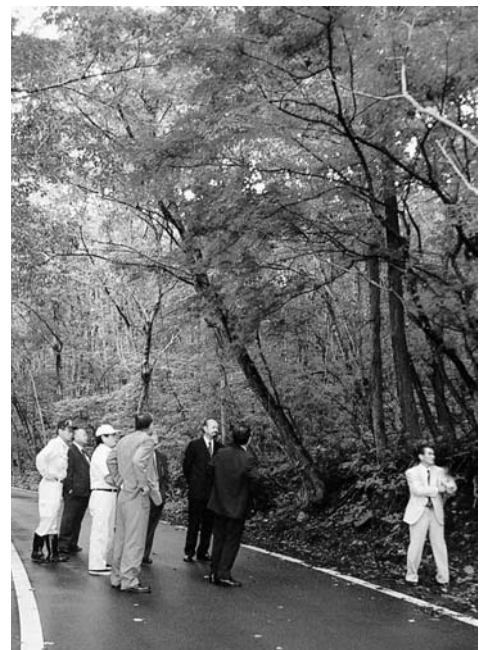
内閣総理大臣 財務大臣
文部科学大臣 総務大臣

第109号の訂正とお詫び

P18の1段目の質問中「1人平均3950円」は「1人平均9万3950円」の誤りでした。お詫びいたします。



現地視察（立野）



現地調査（津島）

行政視察 レポート

町の各種事業の推進を図ることを目的とした議員行政視察が3常任委員会で行われました。各議員は、他自治体の各種事業における先進事例を視察研修し、町の事業に活かすよう活発な意見交換や質疑を行いました。議員それぞれは、一定の研修成果を収めながら、今回の視察中、シッカリ学んだことを、これからの町施策要望に反映すべく取り組んで参ります。

このことは、委員長のまとめた視察の成果を要約して皆さんに報告します。

行財政改革 行政・議会一体で取り組む

● 総務常任委員会委員長 紺野 榮 重

高知県土佐山田町は人口2万1508人、面積11.6km²で高知市の近郊都市として位置しており、町内には県の公設民営方式による高知工科大学があり産学連携による優良企業の誘致を進めており、また、農業では米・ハウス園芸を中心に地域集落営農の推進、地場産業では打刃物やフラフが有名な町です。

行財政改革の推進については、行政、議会が一体となり改革に取り組んでおります。議会側では、平成16年9月に「行財政改革推進特別委員会」を設置し、基本的に毎月2回開催し検討を行っている。行政側も専任の行革担当を置き、それぞれ取り組んでおります。

行革大綱のうち重点課題として、4点について検討をしている。

- ①自主財源の確保について
- ②組織・機構の見直し（議会、執行部を含めた）について
- ③法令外補助金の見直し（行政のあり方）について
- ④指定管理者制度の研究を含めた民間委託の検討

改革を進めるうえで、職員で改革できることは職員で改革し、住民を巻き込んでの改革を進める。更には進み具合のチェックを民間にも検討してもらう、そこに議員も入るわけです。たとえば税金の未納に対しては取る取らないの問題ではなしに収めてもらうことが税に対する基本で

あると言われ、権利と義務の中で大切さを感じました。一方生活が大変な方には別の制度で救ってやるという方法です。といわれた事が徴税の基本であると感じました。

改革に取り組みにあたっては、行政だけでなく議会も一緒になって課題に取り組む姿勢が大事であり必要に応じ提言をすべきと考える。

リサイクルで 12品目の分別収集

徳島県石井町は、人口2万7000人、面積28.8km²で吉野川に面した町であり、以前は米、藍染めが盛んでしたが、近年は米、野菜、酪農が盛んで、乳牛2000頭、和牛2800頭が飼われている。野菜は奈良漬、野沢菜の原料を生産して奈

良県、長野県に送られている。

町では資源循環型社会の構築をめざし、都市施設の促進に努めている。生活環境施設の整備を進めるためにし尿処理施設、リサイクルセンター、一般廃棄物最終処分場が近年建設された。リサイクルセンターでは、12品目の分別収集、ごみの減量化に取り組んでおり、さらにリサイクルの推進を図っていた。下水道は整備せずに合併浄化槽を進めており、9000世帯、年間150基の申請があります。

分別収集導入時には、当初モデル地区を作り町職員が各家庭全戸を廻って分別収集の必要性を説明して歩き納得していただいたが、転入者、新住民の対応はなかなか難しいとのこと、何処の町も同じようであります。集約された町でありながら下水道施設の計画はなく合併浄

私の意見を聞いて



手作りの活性化

小丸 皓市
田 尻

今まで補助のついた「〇〇活性化計画」がどれほど作成されたか数え知れない。

多分、手っ取り早い委託調査事業の運命はどこでもお蔵入りが決まり文句である。

それが血と汗で編みだし、魂を込めた計画であれば作った本人たちはとことん実現化を目指し、当局に喰い下がるであろう。そんな時代に浪江町は立ち至っていると思う。

浪小子供見守り隊

蒔田 嗣夫
権現堂



子ども見守り隊が、地域の方々の協力のもと発足しました。地域の子供は地域で守るというネットワーク作りを目指し活動しております。1カ月が過ぎ、あちこちでタスキをかけた見守り隊を見掛け心から感謝しています。とはいえ、強制では長続きしません。「できる時にできる範囲で」を合言葉に、犯罪の抑止力に少しでも繋がればと思います。未来を拓く子供たちのために……。



人口を増やすために

岩野 芳子
川 添

浪江町は自然に恵まれ住んではとても住みやすい所だと思います。でもよその町村と比べると、とても税金が高いように思います。もっと安くするにはどんな方法があるのか？そして、もっと人口も増えてほしい。それにはお嫁さんをもろう事でしょう。昔みたいに世話をしてくれる人がいっぱいいればいいのにね。今の時代は自分で見つけないとだめなのかなあ…もっと明るい時代が来てくれる事を望みます。



町単独で設置したリサイクルセンター

化槽で対応されている。このことからすれば浪江町は今後下水道の延長採算を考え合併浄化槽での対応も大事であると考え

る。また、石井町ではこれらの施設は町単独で設置し経営に当たっている。

特別林業構造改善事業と多目的運動公園の管理運営

産業建設常任委員会委員長 山本 孝一

北海道津別町は網走支庁の主要都市北見市から峠をひとつ越え20km程行った所にある人口約7000人の山間の小さな町です。網走川を中心に農耕地が扇状に広がり、町の86%が森林です。1982年には「愛林のまち」を宣言。豊富な森林資源を基

盤とした林産工業も盛んです。また平成8年12月には、S(自然)K(健康)I(いきいき)をキーワードにスキーを核とした町づくりを進めることとし、「スキーのまち」を宣言しました。林業が盛んな町でかつては人口も1万人を超えていました。

今でも津別市街には材木が山積みみにされている場所が幾つもあり、林業が主要な産業であることが分かります。代表企業としては丸玉産業があり津別の産業の根幹を支えています。この一企業への依存度が非常に高いのも事実で、それを克服するため企業誘致など必死の努力がなされていますが、誘致を予定した企業がそれを取りやめたり誘致した企業が撤退したりとなかなか成果が得られないのが実情のようです。

津別町多目的運動公園は、パークゴルフ場・サッカー場(1面)、ラグビー場(3面)があり、様々なスポーツを楽しむことができます。津別町公園条例に基



家畜の尿を液肥化した（ゆう水製造施設）

は喫緊の課題です。定住人口についてはなるべく減少を少なくするよう努力し、積極的に交流人口を増加させるような取りくみをすれば、将来の人口活力を高めることは可能だと思われれます。

「ゆう水」による 土壌改良の取組

北海道小清水町では町とJAこしみずは、大型機械や化学肥料・農薬の投入により、疲弊してきた土壌を回復させようと土壌改善の研究などを目的として、平成4年に「小清水町土づくり対策推進協議会」（事務局…JAこしみず）を設立し、研究を重ね、6年10月に家畜の尿などを液肥化した「ゆう水」づくりに成功しました。

会では、16年9月、家畜の排泄物管理法の施行に合わせ、同町の町営牧場にある「ゆう水」製造施設を改修し、原料の貯蓄槽を2基から4基に増設した結果、尿や廃液1860tを1度に処理できるようになり、従来の2倍の生産能力（年間5400t）となった。

ゆう水の散布により、徐々にではあるが土が軟らかくなるな

ど土壌改良が図られており、化学肥料の使用量を減少させることが期待でき、環境保全型農業にもつながっています。

また、牛舎内外の洗浄にも使用でき、悪臭や病原菌の発生が防止され環境改善につながり、酪農のイメージアップが図られています。

地域環境と両立する農業が課

題になっている現在、家畜糞など地域資源を生かした良質堆肥のつくり方や、それを施用した土づくりの重要性については周知のとおりです。土は作物生産の基礎となるもので、土づくりを行ない、地力を維持・増進することが当然のことと思いつつ改めて強く感じるものです。

介護優先社会の取り組みと 日本一の健康県づくり

● 文教厚生常任委員会委員長 橋爪光雄

群馬県中之条町にある「特別養護老人ホームやまゆり荘」「介護老人保健施設ゆうあい荘」の2カ所を視察しました。

特別養護老人ホームやまゆり荘は、入所定員80名で平成11年に開所しており、平成16年度利用実績でショートステイ利用人数3467人（延べ利用人数）、デイサービス6837人（延べ利用人数）、ホームヘルパー（利用件数）4833人で居宅事業所が1003であります。

施設は、特養、ショート、ケア施設の全室が和風造りで、特に4人部屋の仕切りは入居者がゆっ

くり休めるような造りになっている。入所待機者をなくす取り組みがなされており、浪江町も、施設の増築、新築する時は、部屋は和風造りを取り入れたい。

「介護老人保健施設ゆうあい荘」は、定員100床、通所定員30人で、管理運営は中之条町老人保健施設事業特別会計で運営にあたっている。平成16年度運営状況は入所者3万2536人（延べ利用者数）で利用率89・1%、通所者1万5856人（延べ利用者数）利用率65・5%であります。

当町でも、看護、医学的管理の下での介護や機能訓練を積極

づき、株式会社津別振興公社に管理・運営の一切を委託契約により委託しています。

また、晴天率が高く、夏合宿の適地としてラグビー合宿地などの利用も盛んです。合宿は特にスキー、ラグビーなど全国レベルにある有名、高校・大学・社会人チームが利用しています。

浪江町においても、交流人口の増加を図ることは重要な施策の一つととらえ、特にスポーツを通じての来町者を増やすこと

私の意見を聞いて



子供たちに 施設料減免を

鈴木嘉子
棚 塩

最近、少子化になり中学校の部活動にも影響が出てきています。そんな中、種目によっては東北大会、全国大会に出場していることは町にとって名誉なことだと思います。しかしながら上の大会を目指すとき、学校施設だけでは物足りなく、町が管理している施設で思いっきり練習させてあげたいと思います。使用料の減免や厳しい予算の中での学校スポーツ施設の充実を要望したいと思います。

中心市街地に 元気を

守岡利子
権現堂



福島県のまちづくりをどう進める、県知事が英国を視察し参考にあげていた。それは「国が大型店の立地場所に中心市街地を最優先とし、車を減らすために駐車料金、通行税をかけたりにして住民を中心市街地に呼び戻すこと」でした。大型店、商店街の共生も重要なことです。厳しい環境の中商売をいじっていくための自助努力も限界をこえている。行政の役割を期待しております。



自然が豊か 浪江町を アピール

鈴木和子
権現堂

私は埼玉県出身です。先日、里帰りをしてきました。久しぶりの都会は賑やかで生活するのにとても便利でしたが、空気の悪さと水のまずさには、さすがに3日が限界だなあと感じました。浪江町は自然が豊富で住みやすいと改めて感じました。外部から多く移り住んでもらい、人口を増やし活気ある町に取り戻したいと思いました。人が増えればいろんな事ができるのではないのでしょうか。浪江町をもっと全国へアピールしてもよいと思います。



特別養護老人ホーム「やまゆり荘」視察

的に取り組みをしていきたい。富山市では、「日本一の健康県」づくりの実現を目指している「国際健康プラザ（とやま健康パーク）」を視察しました。設置目的は県民一人一人に適した健康づくりの支援、国内外の伝統医学に関する調査研究を行い、世界に向けた情報発信を行う施設であります。主な施設は、国際伝統医学センター、健康的な生活習慣をわかりやすく学ぶことができる「生命科学館」、楽しみながら運動できる「健康スタジアム」などがあります。施設の管理運営は、財団法人に委託している。当町も、(仮称)健康科学プラザ建設(未定)時は参考にしたい施設です。



今年も鮭が やってきました (大きいよ~!)

浪江の秋の風物詩。請戸川に今年もまた鮭がやってきました。明治41年に開始された鮭のふ化事業は年々成果を上げ、最近では毎年2300万粒の採卵、ふ化放流を行い、年間7万~10万尾の水揚げという福島県の鮭漁獲高の約3分の1を占めるまでになっています。

9月中旬から12月中旬まで行われる築場の鮭漁は、川幅いっぱい流した網を少しずつ手繰り寄せる地引網漁法。最盛期には7キロもある大物を含めて1日あたり1000尾から3000尾の水揚げで賑わいます。

表紙より



青田 祥恵さん (11歳) 幾世橋小5年
将来の夢は盲導犬の訓練師

佐々木美穂さん (9歳) 幾世橋小3年
将来の夢はお菓子屋さん

石井 秀人君 (1歳8ヶ月)



枯れ松のつぶやき

山田 薫(小丸)

私は虫に侵された立ち枯れの松の木です。根元から人様の背丈くらいまで、辛うじて表皮が残っている状態で、それより上は、恥ずかしながら丸裸のまま、空につんでおります。

私が立っている小丸字熊の沢は、県道浪江落合線が通り、沿線は、浪江町が誇る観光名所となっております。

春は、ヤシオツツジ(よく言っボケ)のピンク色と、若い黒松の緑色のコンビネーション

が、山の岩肌によくなじみ、人々の感動をいただいております。いつもの年でしたらそろそろ、色鮮やかな黄葉紅葉が太陽に映え、まさに錦秋となるのに、まわりの楓やその仲間たち、川向の大櫨も、何故か枯れ色土色なのです。

針葉樹の私には、あまり影響のない微妙な気温の変化が、色を変えてしまったのでしょうか。そっと川向の大櫨に聞きました。すると、「君と同じだよ。

自然に逆らわないだけさ。」と答えが返ってきました。すると、まわりの落葉樹達が、かさかさ、さわさわとつなずきました。

最近、風の便りに聞こえてくるのは、南甲瘤ミナウツの道路の一面が災害に遭い寸断されて、改修に一年くらいかかるそうなの。

地域の人々の生活は、いかにばかりかと、毎日思い煩いながら、自然を大事に、そして災害に強い道路の完成を夢見ている今日この頃なのです。

編集後記

錦秋の候、いかがお過ごしでしょうか。さて、第4次浪江町長期総合計画が、9月定例議会で承認され、これから10年間の浪江町の将来像が示されました。

キーワードは、「なかよく、みんな、えがおで、ともに築こう安心のまち」です。議会報も進化していきます。今号より、アンケートの中で一番要望の多かった「町民の声をたくさん載せる」ことを企画しました。110号は町民6名の方の声を掲載させていただきましたのでご覧ください。

次号は、貴方の声をお聞かせください。(記 田尻 良作)

- 議長 山本 幸男
 委員長 佐々木恵寿
 副委員長 佐藤 一男
 委員 佐藤 文子/委員 小黒 敬三
 委員 田尻 良作/委員 横山 精一



議会活動の近況

8月	
1日	議会運営委員会
3~5日	総務常任委員会研修
8日	議会報編集委員会
10日	議会運営委員会 地域共生型電源開発特別委員会
19日	広域圏議会保健衛生委員会
22日	文教厚生常任委員会 広域圏議会消防厚生委員会
25日	広域圏議会総務常任委員会
25~26日	議会報編集委員会研修
26日	広域圏議会運営委員会
29日	正副議長研修会 総務常任委員会・文教厚生常任委員会
31日	広域圏組合議会定例会

9月	
5日	議会運営委員会
7日	双葉地方議長会
13~28日	第4回浪江町定例議会
10月	
2~5日	広域圏議会運営委員会研修
4日	栃木県都賀町議会来町
5日	国道114号拡幅促進特別委員会
6日	議会報編集委員会
13日	議会報編集委員会
14日	町村議会議員研修会
19日	議会報編集委員会
21日	双葉郡議員交流会
26~28日	議会運営委員会研修

みなさまの声をお聞かせ下さい。

編集委員会では、議会に対する町民の声を議会だよりに掲載したいと考えております。議会傍聴時の感想等なんでも結構ですのでお声をお寄せ下さい。